



誇りを持てる同窓会作りに邁進

金沢星稜大学同窓会 会長

鳥居 茂

平素より同窓会会員の皆様からは、金沢星稜大学同窓会に対して格別なご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

此度平成18年度理事会が、去る7月8日開催され新組織、新体制が承認されました。その中で、平成20年3月31日までの約2年間任期を与えられ金沢星稜大学同窓会会長に就任致しました。直前会長中田邦雄様の功績を称え長年のご苦勞を労い紙上をもって御礼申し上げます。

私は常任理事会、理事会を通して数年来、ややもすると停滞化していました各委員会の活性化と同窓会事業に活力ある運営を願っていました。幸いにも常任理事からのご理解を得ることができ平成18年度理事会でその体制を組織することができ、常任理事、理事各位におかれましては感謝を申し上げます。次期です。

今、まさに同窓会会員各位は同じ大学を卒業したという共通点を生かしビジネスにお互いが交流し合う輪を創り出していくこと

が心底抱えていることであり、金沢星稜大学を卒業して良かったと実感を感じる機会を作ることが目標です。それを達成するために新人の起用、委員会毎の正副の改選、一定の条件を満たした新支部開設の奨励、会議定例化の推進をおこない会員の異業種交流の機会を設けます。

そして大学との今よりももっと良好な関係を再構築するため、在学学生への支援、留学生と在学生を含む交流の場を多くすることにも学術活動を今以上に活発化し、大学の持てる力を最大限発揮していただきその研究成果を本会会員の皆様へフィードバックしていただけるようお願いしたいと思っております。

ウェブサイトの有効活用については、全面的にリニューアルしページ毎の更新頻度向上と会員からのアクセス数向上のための施策を行います。又定期的にメールアドレスをご登録頂いた会員へのメールアドレスを発信させ同窓会との情報の共有化に努めます。会員の皆様の声やご意見を参考

にスローガンとして「活力と会話のある、絆深まる同窓会へ、ルネッサンス」の実現を果たす見解です。私は任期中同窓会会員の皆様が誇りを持てる同窓会作りに邁進し、夢と希望に満ちた明るい豊かな地域社会への経済活動に資する会員づくりと、同窓会活動の新たな担い手の養成、世代交代の橋渡し役として励んで参ります。就任にあたり皆様からのご理解ご支援をお願い申し上げます。挨拶に代えさせていただきます。

プロフィール —とりいしげる—

1949年金沢市生まれ。
1971年金沢星稜大学(旧金沢経済大学)卒業。
同年前多(株)入社。1975年(株)的場物産入社。
1983年(株)日本エージェンシー入社。
2004年同社取締役就任。現在に至る。
社団法人金沢青年会議所シニア。
金沢星稜大学剣道部OB会星剣会理事。

金沢城の見えるホテル

金沢スカイホテル

星稜大学同窓会の皆様へ

特別宿泊プラン



お部屋代(税込) お一人様

シングル 6,500円

ツイン 6,000円

※ご予約の際に「星稜大学同窓会」会員とご案内下さい。



我がホテルはふるさと石川の分身

金沢スカイホテル

金沢市武蔵町15-1 〒920-0855 TEL(076)233-2233

ご予約・お問い合わせは

TEL 076-233-2231

FAX 076-233-1407

<http://www.skyhotel.co.jp/>



変化を担う人材の輩出

金沢星稜大学院 研究科長

原 耕平

昨年の合計特殊出生率が一・二五と過去最低を更新、日本経済の先行きに警告信号が点滅し始めている。また、目を世界に転じれば、お隣中国の経済拡大は著しく、四半世紀後には国内総生産規模で日本を追い抜くと予測されている。

これらの環境変化は、「狼の遠吠え」的なものとして捉えられていて、身近な現実の問題とは実感されないまま、今日を迎えたという現実があります。

このような環境の変化による急激な意識変化が醸成される中、平成十四年に星稜大学に大学院修士課程が設立されました。すなわち、星稜大学に大学院が誕生した時代背景からも理解できるように、大学院に期待されるものは、これまで大学院が担ってきた学生の育成のみならず、時代の変革を担える人材の教育、育成ならびに社会への輩出にあると考えております。

この大学院への時代の要請の変化は、日本における地域、地方の在り方、位置付け、ひいては日本経済の向うべき方向性に大きな発想の転換が必要とされている状況と同じで、切り離しては考えられません。

すなわち、今の時代こそ大学院レベルでの教育、再教育が社会に求められている時代はないと思います。

日本における地域、地方の在り方が問われる一つの大きな要因は隣国中国が「世界の生産基地」として登場し、これまで地域の優位性として保持された要素が消滅してきたことです。しかし、同時に高度情報化社会の到来という新しいプラスの要素が出現したことを見逃してはなりません。

高度情報化社会は世界の出来事をリアル・タイムで目の前に展開しますが、逆にみれば、国境、人種などを越えて情報が相互に飛び交うことを意味します。すなわち、地域、地方の枠組みが国境、人種を越えて新しく組上げられ、さらに全く新しいことですが、人々が現地へ直接移動して仕事をしなくてもよい時代が変わったということなのです。

騒然とした環境ではなく、落ち着いた環境の下で、歴史ある古都金沢に位置する星稜大学大学院は、時代の変化の優位性を明確に意識し、時代の変化を担える人材教育に専念します。これには、東洋学の大家、安岡正篤の「照心語録」に云う「知識」、「見識」、「胆識」の世界があります。知識、さらに知識

識に基づく判断力、そして信念を持った実行力を発揮できる人材、とくに経済活力の源である自営業者、若き経営者をここ金沢から世に輩出していきます。

プロフィール — はら・こうへい —

- 1947年福井県福井市生まれ。
- 1972年青山学院大学理工学部経営工学科卒業。
- 同年4月大和証券調査部入社。
- 1977年米国ペンシルバニア大学フォートンEFAに出向。
- 1987年大和総研(香港)社長。
- 1993年大和総研経済調査部長&チーフエコノミスト、理事。
- 2000年10月金沢経済大学教授、2006年4月～金沢星稜大学研究科長。

昭和54年、オレンジ色の風に乗って、でオープン以来数多くのお客様にご利用ご愛顧賜りましたホテル・イン金沢は本年8月13日を以ってリニューアルすることと相成りました

2008年 春 新たな風を皆様に…ご期待ください!
ありがたい感謝の気持ちはそのままに





グローバル社会と「情報」、 「情報力」

金沢星稜大学 経済研究所長

高木 亮一

私が授業を受け持っている「情報社会論」では、まずはじめに情報とは何かということとを考えます。日ごろ頻繁に情報ということとは使っていますが、改めてその意味を説明するのは難しいものです。そこで、情報とデータという二つのことをならべて、その対比から情報の意味を探っていきます。

私たちは今情報社会に生きています。では情報社会とはどういう社会でしょうか。データのもすこい処理力・蓄積力をもつコンピュータが社会で大きな役割を果たしていることは言うまでもありません。しかしそれはデータの扱いにおいてすこいパワーを発揮しているということとです。実際の社会は、人々が目の前の問題をどうとらえ行動していくかで動いていきます。広く集め処理されたデータを解釈、判断、編集してコトにあたっていきます。データはコンピュータ・ネットワークのつて世界中を飛び交っています。私たちは沢山のデータを容易に手にすることができるようになりましたが、そのデータの意味は、それを受けとる人の感性、価値観、そしてそこに住む地域の文化によってさまざまです。「はれ」も「あめ」

も同じ32ビットの情報「量」ですが、その意味はまったく違います。また「あめ」といってもこれから旅行に行くことと持っている人とそうでない人とはその受けとる意味は違ってくる。

同じデータがさまざまな立場、場所、地域で受けとられ、さまざまに解釈され、さまざまなコトが起ります。まさに「情報」があります。情報は「information」の訳語ですが、「inform」の原義は形の定かでないものに形を与えるということとです。目の前のどうとらえたらよいか分からない問題に形を与える、それが情報のはたらきです。問題に対処するためにどの行動をとるかを決めるのも情報です。これからどう生きるか、人の生き方に形を与える人生のビジョン、これも大切な自分の情報です。地域の将来を形づくる地域のコンセプトづくり、これは地域づくりの情報を生みだしていくということとです。このような情報を生成していく力「情報力」が、コンピュータが大いなる力を発揮する社会で強く問われます。グローバルに飛び交うデータと、個々人や地域人が情報を紡ぎだしていく力「情報力」の出会いと、ここに私たちは生きています。それが情報

社会に生きるということであり、大学はその情報力を磨く場です。学生諸君が金沢星稜大学で、この情報力を大いに高めてくれることを念じてやみません。

プロフィール — たかぎ・りょういち —

1946年生まれ。
早稲田大学理工学部機械工学科卒業。
早稲田大学大学院理工学研究科(工業経営学専攻)博士課程単位取得満期退学。
バイオニア(株)等勤務を経て、1997年第一経済大学教授、2002年金沢星稜大学教授。
2006年より経済研究所長。担当科目は、情報社会論、地域形成とシステム思考、等。

COMMUNICATION AGENT

●コンピュータ用紙類、一般紙類●シール・ラベル●広告宣伝用印刷●ディスクロージャー関連印刷●DTP/DM処理受託●Webシステム制作、デジタルカタログ制作、データベース構築



福島印刷株式会社



本社・工場 / 金沢市金沢南町4-6 〒920-0257 TEL076-217-5111 (F) FAX076-267-8095
岡山営業所 / 岡山県上野市1-1 〒719-0671 TEL079-491-2631 (F) FAX079-494-1225
徳島営業所 / 徳島市西町13-811 〒794-8231 TEL0776-25-3430 (F) FAX0776-23-0389
東京営業所 / 東京都中央区日本橋本町4-5-14 〒103-0023 TEL03-3231-0621 (F) FAX03-5200-2248
大阪営業所 / 大阪市中央区千代田3-1-9 〒541-0046 TEL06-6229-3411 (F) FAX06-6233-0040
名古屋営業所 / 名古屋市中区東山1-2-2 〒460-0022 TEL052-335-2940 (F) FAX052-335-2948



室野硝子株式会社
取締役社長 室野 吉雄
(一部4期生)

金沢星稜大学を卒業して32年が経過しましたが、当時は大学の周りには殆どが畑で静かな環境であった事が思い出されます。しかし近年では周辺の道路整備が行われ金沢外環状道路(山側幹線)も開通し能登、加賀方面に行くのには大変便利になり大学の将来も明るい環境になったと思います。

創業者である父が病に臥してから引き継いで社長に就任し今日に至っておりますが、当時は営業畑一筋で来た私には経営という大きな壁に打ち当たった感じで日々悩まされた事が鮮明に頭の中に残っております。人間は障害に出会った数だけそして、悩んだ日数だけ成長して行くんだとある先輩が言ってくれた事が唯一私の支えでもありました。

私の会社の設立は1953年7月1日で今年54年を迎える事

になります。業種は建築の板ガラス工事業であり、北陸三県を中心に営業を展開しております。最近では外壁がガラス張りの建物がブームになっておりますが、施工技術も日々研鑽しなければこの業界淘汰されていきます。私どもはその施行したガラス建築物を通じてA街づくりVに努め地域社会に貢献出来る事を目標にしております。幸いにして現在の金沢星稜大学の建築のガラスも私どもの会社で施工をさせて頂きました。これからも歴史に残る建築物に板ガラスを納めて後世に伝えて行きたいと思っております。終りに金沢星稜大学のご発展と同窓会のご活躍を念じまして結びと致します。



株式会社 中川鉄工所
取締役製造部長 中川 泰一
(一部12期生)

昭和57年3月に卒業して早や24年の月日が過ぎました。在学当時を振り返ると所属していた剣道部の厳しい練習に励み学業は、習得単位もぎりぎりでしたが何とか卒業できました。

私が在学中に一番印象に残っているのは4回生の時、ある経済学の教授が講義で「卒業までに何でも良いから学生生活の中で、ひとつ感じた事をレポートにしなさい。」と話され、即座に私は部活の練習の事や、上下関係の事を書き入れました。いま思うと、何かをやったのでは無く、何を感じ何を思ったかであり、その事により「人間の豊かさ」をその教授は学生達に伝えたのではないのでしょうか。

現在、私の会社では、産業機械の長尺大型部品を製作・組立をしており、その製造部門を任されています。まだまだ職人の域にある

製造業も、マニュアル化が進んでおりますが、対「人」となるとマニュアルとはいきません。やはり、膝突合わせの話も必要です。社内でも色々な人の集団なのでこの時に少年時代より続けた武道精神「心技体」の理念で人間性を高めることに大いに役に立っております。これも、在学中に武道を通じて御世話になりました沢先生、諸先輩方、後輩のみなさんのお陰かと大変感謝しております。

又、5月に開催された剣道部OB会総会で現役3回生の桶田君が30数年ぶりに、北信越大会にて個人優勝飾り、見事全日本へのキップを手にした朗報を聞きまして、全日本大会も頑張ってください。

最後に剣道部の先輩方々の推奨により、今期から同窓会常任理事として仲間入りさせて頂き、金沢星稜大学発展に寄与することを、お誓いし、皆様と永遠なる「絆」で繋がれますように………と誓う。

くつろぎのひとときをお届けいたします。

会議、ご宴会、ウエディングのご相談承ります

宴会直通 TEL 076-231-3912

FAX 076-265-6481

http://www.kanazawa-e.tokyuhotels.co.jp



金沢 エクセルホテル東急

〒920-0061 金沢市西丸山2-1-1
Tel:076-231-2411 Fax:076-263-0154
http://www.kanazawa-e.tokyuhotels.co.jp





株式会社 小堀酒造店
取締役管理部長 新保 信賢
(一部5期生)

昭和50年に大学を卒業して、早30余の年月が過ぎました。大学時代を振り返ってみると、勉強にクラブ活動にと大変充実した4年間だったと思います。

クラブ活動では、当時大変ブームだったボウリング部に入会し、県内外の大会に出場し入賞・優勝そして全国大会へ選抜される出場と、多くの仲間にも恵まれ貴重な体験と共に多くの財産として思い出されます。

また、ボウリングは学生同士の交流だけではなく、一般社会人との交流も多く練習場となっていた会場の方々の触れ合いや、社会人大会への応援出場等があり、学内では学べない多くの事を勉強させていただきました。

社会人となっても、職場ではボウリングクラブを作り学生時代と同じように、県内外の大会に出場し職場内の交流は勿論のこと、異業種の方との交流を図ることが出来るような意味でボウリングをやってきたことが良かったと思っております。現在では、なかなかその機会もなく、大学時代の仲間と

も会うことも無くなっておりますが、久しぶりに仲間を集めてボウリングを行いたいと思っている今日この頃です。

仕事では、特にお酒が好きだった訳ではなかったのですが、縁があり現在の清酒メーカーに就職をいたしました。現在までに、ローターアクトクラブや金沢青年会議所に入会し社会人になってからも多くを学ばせていただきました。

日本酒の消費量は年々減少しており大変厳しい状況にあります。焼酎の人気や安価な日本酒の販売が増え、価格競争が起きてしまっております。この仕事に携わり日本酒が好きになった私としては、価格に左右される酒ではなくあくまでも「旨い酒」を造りそしてそれを皆さんに飲んでいただくたいと思っております。

いろいろな方面で活躍する同窓生の活動の状況を本誌で拝見すると、いつか私もと思っておりましたがなかなか思いきりがなく今まで来てしまいました。この縁を大切にこれから同窓生の一員として頑張っております。



株式会社 丸藤
webディレクター 藤弥 隆俊
(一部29期生)

大学を卒業して7年が過ぎました。大学の頃に一番心に残っていることは2ヶ月間のカナダ短期留学、ホームステイでした。片言の英語と精一杯のジェスチャーでなんとか無事過ごすことができたのです。

日本に帰ってから、カナダでできた友人となんとかこれからも気軽に連絡を取り合いたいという思いと、カナダの友人がパソコンを使い、簡単に連絡しあっているの思い出しインターネットというものを初めて知りました。大嫌いだっただけですが、アルバイト代をつぎ込んで購入、インターネットを利用するようになりました。

日本では、現在ほとんどインターネットが普及していない時期で、カナダの友達に日本での出来事を写真で伝えようとしても、回線が細くて現在のようなスピードでなかなか送れなかったことを思い出します。以来、大学で学ぶパソコンを利用した情報処理のことや、ネットワーク関連のこと、そしてインターネットの事に興味を持つようになり

ました。

現在ホームページを作る仕事に就いていますが、まさかカナダの友人との関係でこの道に進むとは夢にも見ませんでした。「あ、もつと勉強しときゃよかったな」と思うことが度々です。

改めて大学時代を振り返ってみると、目的をはっきりと持たずに4年間過ごしてしまったことを反省する次第です。もしあの4年間にもう一度戻れるならば、今の仕事に関する、あんなことやこんなこと、いろいろ勉強したい事がたくさんあったように思います。それでもちよつとでも大学時代に学んだことやアルバイトを通して知り得たことが仕事を通うじて活かせることを実感できたときは、とてもうれしく思います。

日々技術的に進化していくこの業界の中で身を置く以上、今の仕事を通して実践の中で頑張るしかないと思っています。そして日々激変するIT業界において、お客様にとって本当に必要とする情報や知識・技術をいち早く吸収、お客様の業務に良いもの・役立つものを提供、そして笑顔や感謝の言葉を獲得できるよう日々邁進してまいります。

私共は技術と信用を塗っています。

住宅・ビル・工場の塗替リフォームの専門業者です。

ペインテナンス(ペインティング・メンテナンス)キャンペーン実施中
抽選でポータブルDVDプレーヤーをプレゼント

専門業者だから工事も価格も安心
アフターサービスも万全!

■日本塗装工業会会員 ■日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会会員

1部1回卒 社長 三好研一
1部4回卒 専務 三好信広



株式会社 三好塗工

☎(076)291-3675 (代) 金沢市高島1丁目118 中能登営業所/羽咋郡志賀町川尻3-22-1
FAX (076)291-3694 TEL(0767)32-4751

平成17年度在校生支援基金 協力者名簿

丁部12期 昭和57年 大野 千恵	丁部11期 昭和56年 後藤 雅隆	丁部10期 昭和55年 山本 健司	丁部9期 昭和54年 岡田 悟	丁部8期 昭和53年 宮腰 毅真	丁部7期 昭和52年 上野 真	丁部6期 昭和51年 谷内 明弘	丁部5期 昭和50年 松浦 美勉	丁部4期 昭和49年 寿時 美昭	丁部3期 昭和48年 原野 順子	丁部2期 昭和47年 西永 章一	丁部1期 昭和46年 北川 和男	岩倉 清光	米岸 孝一	山岸 孝一	高城 康光	小嶋 一夫	石川 栄一	藤田 秀俊	南出 利之	中村 英太郎	石川 栄一	森好 研一	三好 研一	鳥居 茂雄	土谷 邦隆	加田 隆雄	勝木 洋介	小川 義昭											
丁部27期 平成9年 井口 笑子	丁部26期 平成8年 野崎 要	丁部25期 平成7年 松浦 範彰	丁部24期 平成6年 橋本 幹二	丁部23期 平成5年 小杉 大介	丁部22期 平成4年 高橋 正哉	丁部21期 平成3年 相良 伸介	丁部20期 平成2年 水野 谷満	丁部19期 平成1年 小井 真紀	丁部18期 昭和63年 武田 慎一	丁部17期 昭和62年 山本 雅史	丁部16期 昭和61年 松田 淳	丁部15期 昭和60年 山口 順也	丁部14期 昭和59年 西野 伸一	丁部13期 昭和58年 堀井 信吾	丁部12期 昭和57年 丸尾 亮二	丁部11期 昭和56年 北尾 主之輔	丁部10期 昭和55年 石黒 龍平	丁部9期 昭和54年 鍛冶 哲夫	丁部8期 昭和53年 荒家 良樹	丁部7期 昭和52年 坂外 志雄	丁部6期 昭和51年 問谷 元子	丁部5期 昭和50年 西出 良一	丁部4期 昭和49年 川坂 君江	丁部3期 昭和48年 富澤 尚子	丁部2期 昭和47年 吉村 千鶴子	丁部1期 昭和46年 濱島 数一	浦木 郁雄	高木 誠司	小嶋 嘉彦	根井 隆一	奥谷 欣浩	杉本 忠司	大森 弘道	西野 睦夫	永野 睦夫	加藤 弘道	藤弥 一司	玉井 清宏	新保 裕志

在校生支援基金 贈呈式

平成18年7月28日大学学長室において、早瀬学長立会いのもと、『在学生支援基金』の一部100万円が鳥居会長より学友会会長 宮本翔悟君に手渡されました。学友会会長より感謝の言葉が寄せられています。

…この度は大学同窓会より学友会に「在校生支援基金」100万円をご寄付いただき誠にありがとうございました。

今回ご寄付いただきました100万円の使い道としては、まずゼミナール活動の活性化を図るために使わせていただきたいと思います。内容としては、各ゼミナールごとに「ゼミ旗」を作り、ゼミナール大会や流星祭、新入生歓迎祭などの大学行事で有効に活用させていただきたいと思います。この他にも、クラブ・サークルや、学生全員がよりいっそう充実した大学生活を送っていただけるようなことに使わせていただきたいと思います。

学生を代表して感謝申し上げます。ありがとうございました。



「在校生支援基金」のお願い

平成17年度在校生支援基金は多くの皆様の温かいご支援のもと、124件508,000円のご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。
在校生支援基金は、在校生の皆様のスポート文化、社会活動、留学生交流などにますますの活躍を期待し、同窓会として物心両面から強固な支援をすることを目的としています。大学事務局と相談しながら在校生のための有意義な支援を考えてまいります。
つきましては、平成18年度におきましても、昨年同様、在校生支援基金に同窓会会員皆様のご賛同、ご協力頂きたくお願いするしだいで。

（在校生支援基金）（一〇）2・0000円（一〇以上何円でも可）

天然ガストラック

モーダルシフト
(スーパーレールカーゴ)

アイドリング
ストップ運動

で、

で、

で、

CO₂ 削減



みんなで止めよう温暖化

佐川急便はチーム・マイナス6%に参加しています。

TRANSPORT!
COMMUNICATION
SAGAWA

http://www.sagawa-exp.co.jp

平成18年度理事会開催

〔日時〕平成18年7月8日(土)

〔会場〕金沢工ケルホテル東急

〔理事会及び懇親会〕理事会では平成17年度決算及び平成18年度予算が承認、鳥居氏が新会長に選出されました。引き続き行われた懇親会では理事長、学長、事務局長はじめ大学関係者、そして関西支部からも参加を頂き、新執行部の紹介等もあり、今後の同窓会隆盛を祈念して終了しました。



▲理事会にて



▲懇親会にて

平成18年度 金沢星稜大学同窓会予算案

(自平成18年4月1日至平成19年3月31日)

(単位:円)

科目	予算額	備考
前期繰越金	4,599,679	1部300名 2部8名 308名×15,000円
入会金	4,620,000	北越、金沢、郵便局
受取利息	1,000	
広告収入	80,000	「きずな」広告
合計	9,300,679	
事業費	1,800,000	会誌「きずな」発行、ゴルフコンペ、留学生との交流、HPサーバー経費
人件費	550,000	
通信費	1,100,000	「きずな」発送代、案内発送、はがき、電話料金
消耗費	60,000	コピー代、用紙、プリンターインク代
理事会費	180,000	
支部運営費補助	190,000	関東、関西各50,000 東海、北陸、新潟各30,000 高橋報告書送付費
旅費交通費	250,000	支部役員会議
広告費	20,000	大学駅実行委員会
委託手数料	100,000	HP企画、BIX手数料
会議費	200,000	常任理事会 正副会長会議 各委員会議
40周年記念事業費	500,000	H18~H21 4年間
予備費	200,000	
次期繰越金	4,150,679	
合計	9,300,679	

平成17年度 金沢星稜大学同窓会決算書

(自平成17年4月1日至平成18年3月31日)

(単位:円)

科目	決算額
前期繰越金	2,370,333
入会金	5,250,000
受取利息	81
広告収入	80,000
合計	7,700,414
事業費	1,327,041
人件費	553,329
通信費	920,273
消耗費	33,424
理事会費	106,288
支部運営費補助	50,000
旅費交通費	64,960
広告費	20,000
委託手数料	420
会議費	0
40周年記念事業費	0
予備費	25,000
次期繰越金	4,599,679
合計	7,700,414

〔速報〕同窓会支部組織について

これまで支部組織化について県内外より話を持ち込まれていたが会則にも関わる案件なので、執行部でも検討を開始しました。

概略
・区割りについて日本を14ブロックに分け、石川県は能登、金沢、白山の3地区とする。
・富山、福井は一県一支部とし、その他地区はブロック単位にする。
・正会員が50名以上居住する地区が支部開設できる。
・海外については一國一支部とする

等々検討しているが、基本的には同窓会の活性化を目指し、支部開設を奨励したい。

平成18年度 金沢星稜大学同窓会役員名簿

会長	鳥居 茂	総務委員会	源大 和幸	・	松浦 勉	事務局長	園部 和浩
副会長	中田 邦雄	・	中川 泰一	・	野呂 秀春	相談役	東川 孝典
副会長	三好 研一	・	礪波 宏成	広報委員会	藤弥 一司	・	安藤 至
・	小嶋 一夫	・	芝田 義則	・	廿日岩 均	・	寺田 利恵子
・	上野 雅司	・	田中 洋之	・	筋 政樹	監事	森 寿
・	中條 一之	企画委員会	坂 外志雄	・	忠村 健司	・	小林 義昭
・	坂 外志雄	・	宮崎 康雄	・	玉井 清宏	・	室野 吉雄
総務委員会	中條 一之	・	新保 信賢	事務局長	清水 実		

各支部同窓会報告

第8回金沢星稜大学同窓会関西支部総会

2006年5月28日開催
於「ニースパトライズ」臨時大阪府

今回で8回目を数える同窓会からは平成17年度収支決算報告から始まり、鳥居副会長乾杯の後、懇親会を深めながら坂野副学長を迎え来春新学部開設申請の事、在学生の卒業判定の事、卒業同窓生へのバックアップ、情報交換の機会を今後設ける話など充実した講話の時間をいただきました。又、留学生 藤野(ホウ)君が現在日本で就職活動の状況報告がありました。



君が現在日本で就職活動の状況報告がありました。

18年度 金沢星稜大学同窓会コンペ 開催!!

6月3日(土)久しぶりに好天となったベストコンディションの中スタート!結果は下記の通りです。

優勝 鳥 久雄 G 990 N73.2
準優勝 吉田 英一 G101 N74.6
第3位 若住 昌 G 99 N75.0
B G 森川 健三 990



鳥さんの優勝スピーチを交えて、にぎやかにパーティーが行われました。尚、今秋稲置学園コンペも開催予定です。ゴルフをされる同窓生の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

見えそで 見えない
カップの底には
琥珀色した
夢がある。



株式会社 デライト
〒921-8112 金沢市長坂3丁目2番26号
TEL 076-245-1200 FAX 076-245-7445
E-mail delight@nb.vip1.ne.jp

■オフィスコーヒーサービス ■ SATOMIC (MCM-500) 業務用
■煎りたて珈琲専門店 デライト珈琲《豆屋》
■喫茶ショップ(長坂本店) 早稲田アルファ学園(二子原) 早稲田
■(北海道)自動販売機システム ■ドットコーヒーサービス

SEIRYO INDEX

平成18年5月より、 星稜ワンカル誕生

卒業生のみならず、金沢星稜大学キャンパスでもう一度学生気分まで学びませんか。

「星稜ワンカル」とは、「星稜ワンコインカルチャー」。ワンコインでだれもが受講可能なカルチャー講座の愛称。より楽しく、よりためになる情報の発信をと、今年5月スタートしました。

これからの星稜ワンカルご案内

□星稜ワンカル今後の予定講座

第3回 9月16日(土) 13:00~15:00

『金沢検定を受けてみよう!』

講師:金沢経済同友会副代表幹事・(株)福光屋社長 福光松太郎氏

第4回 10月7日(土) 13:00~15:00

『教育職員のためのファイリングシステム-基本と実践-』

講師:(社)日本経営協会・経営研究センター 主任研究員 石島正勝氏

第5回 11月11日(土) 13:00~15:00

『株って何?』

講師:本学大学院研究科長・元大和総研調査部経済調査部長 原 耕平教授

「星稜ワンコインカルチャー講座」は、受講料500円で誰でも学生気分まで受講できます。
(お申し込み・お問い合わせ: エクステンションセンター 076-253-3867)

第一回講座は山下智茂野球部総監督の「夢への挑戦」

今年からエクステンションセンターが、新しい取り組みとしてはじめた公開講座、「星稜ワンカル(星稜ワンコインカルチャー)」の第1回が5月20日(土)本学101講義室で行われました。「夢への挑戦」と題して、金沢星稜大学特任教授・星稜野球部総監督の山下智茂氏が講師としてこれまでの夢を実現するために挑戦してきたことを話されました。会場には132名の聴衆が集まり、山下氏の講演を熱心に聴きました。



留学生サロン

昨年、卒業して同志社大学大学院商学研究科に進学した藤橋輝君に平成17年6月11日、大学のキャンパスを案内してもらいました。研究室や図書館を見た後、学内のレストランで懇談しました。就職内定の知らせを楽しみにしております。(写真参照)

本年2月、上海へ2度目の訪問。世界で重みを増す中国経済と上海の発展ぶりに中国との深い経済交流を感じます。



金沢星稜大学同窓会直前会長
中田 邦雄



同窓会と留学生との5回目の懇談会を開催しました。ロシア、中国、韓国からの留学生7人。大学からの国際交流センター方援助教授、田辺栄教学課長さんの出席。同窓会から中田邦雄直前会長、三好研一副会長が出席して交流を深めました。留学生の元気が、同窓会、大学の元気につながります。同窓会においては、中国に支部の結成ができればと思っております。

第5回
留学生との
懇談会を開催
2005年11月13日開催 於:金沢スカイホテル金沢市



創業82年の伝統を未来に活かす
活魚・輸入海老各種・高級鮮魚・冷凍魚・特殊品

高級鮮魚

株式会社 忠村水産

卸部 TEL 076-263-5301 FAX 076-232-2178
小売部 TEL 076-232-0333 FAX 076-232-7394
<http://www.tadamura-suisan.co.jp>